

予算特別委員会から

(2・3ページ)

平成14年度一般会計歳入歳出予算の審査状況から、主なものをお知らせします。

府中市議会市政会

低迷する社会経済情勢を反映して市税収入が前年度比約10億円の減となり、経常収支比率が99%を超える等、平成14年度予算は大変厳しい内容となっている。その中で、適正な基金や市債の活用により財政の健全化を図るとともに、子育て支援やNPO・ボランティア活動への支援等市民と行政が知恵を出し合い協力する体制づくり、バリアフリー化等の施策が盛り込まれている。また土地区画整理事業や再開発事業等これからの府中市の発展のためにも一層努力されたい。市民とともに歩む市政、協働による活気に満ちた魅力的なまちづくりのために、さらなる行政努力を期待し、本予算に賛成する。

府中市議会公明党

平成14年度は、「心ふれあう緑豊かな住みよいまち」を目指す第5次府中市総合計画のスタートの年である。景気低迷を反映した大幅な市税の減収により財政環境が悪化する中で、事務事業評価をはじめ経費削減等の行政改革や財政措置を図り、子育て支援、環境対策、IT推進等に対し予算の重点配分を行った。これらは市民要望を的確にとらえるとともに時代の変化に対応したものであり、十分、評価に値する。今後も「人間の尊重を基本理念として市民との協働による文化性の高い、活気に満ちた魅力のあるまちづくり」を府中市の永遠の理念として市政が行われることを期待し、本予算に賛成する。

反対討論

日本共産党府中市議会議員団

先行きの見えない景気の悪化により国民の暮らしは最悪の状況にある。所得格差はますます広がり、一人あたりの市民税負担額は増加し、市民がいかに大変な生活状況にあるかをあらわしている。また、市の行革は市民負担増を押し付け、さらに高齢者福祉の大幅後退や就学援助費など教育分野への削減が進められている。市財政白書では、経常収支比率90%以下を目標としているが、数字ばかりが一人歩きする傾向が見られる中、財政運営に当たっては、市民生活の実態に配慮した慎重な対応をすべきである。市民の暮らしを支える市政への転換を強く求め、本予算に反対する。

生活者ネットワーク

今年度は総合計画「わたしたちの新世纪府中プラン」の初年度であり、その予算がここで示された。対前年比0.9%マイナスと市民の夢を盛り込んだ総合計画を実現するには、厳しい状況である。市税収入の落ち込みや競走事業の収益が期待できない状況下、一般会計への繰出しは見込めない。また、限られた予算の中で、福祉等での義務的経費が上昇すれば、大型施設や大規模開発に従来のように予算が配分されると財政運営に無理が生ずる。適正な規模の計画を策定できるよう調整すべきではないか。本予算が総合計画のスタートを切るのに不安を残すものであるため、本予算に反対をする。

賛成討論

法人市民税 税収の見通しは

委員 市税収入は財政の基本であり、特定企業に頼る体質からの脱却は施策の成果と評価する。平成14年度の法人市民税額とその中で1号法人等の占める割合、税収の一番多い業種は何か。また、これまで30億円としてきた税収の最低ラインをどう考えているか聞きたい。

市民税課長 新年度予算における法人市民税額は25億2499万9千円、占有率は34.4%、業種は電気電子機械製造業である。

景気の影響が市に現われるのは早くても半年以上先になる。府中市の特性であるIT関連企業の動きにもよるが、25億円を下らないよう希望している。

歳入

地域デイサービス 利用料に対する認識は

委員 共生の時代を迎え、住み慣れた地域で元気に年を重ね、それに貢献するというのが地域デイサービスと考える。サービスの利用料と設定理由、また利用料に対する認識を聞きたい。

福祉部次長 地域デイサービス利用料は傷害保険料を含む活動費のおおむね10%、月500円を参加登録費、参加費として設定した。

従来は福祉サービスに対する負担という概念が薄かったが、介護保険制度導入により、それぞれが応分の負担をするという理解が広まってきたと考える。みんながつくるみんなの福祉をテーマに、事業拡大に向けて努力したい。

歳出

子育て支援本部 設置の目的は

委員 平成14年度の組織改正のメインとなる、新設の子育て支援本部について、組織の内容を聞きたい。

総務部次長 子育て支援本部の体制は、子育て支援課に推進係、児童係、待機児解消推進担当主査を配置し、保育課に管理係、各保育所、児童クラブを置く。

また、児童クラブ担当の管理職を置く予定である。

委員 女性青少年課にあった児童クラブ担当が同本部に置かれる経過を聞きたい。

中学校の武道教育 指導のあり方は

委員 礼に始まり礼に終わるといわれる武道の振興は、礼儀やしつけ、教育的な意味からも重要と考える。市内中学校における武道場設置状況と活用状況はどうか。

また、武道に対する教育委員会の考えを聞きたい。

指導担当主幹 平成14年度予算で第九中学校に武道場が新築され、市内すべての中学校に設置される。武道場は授業だけでなく柔道・剣道のクラブ活動等でも活用している。

中央図書館 これからのあり方は

委員 来年度、中央図書館のあり方等検討協議会(仮称)の設置が予定されている。この協議会の検討内容やスケジュールについて聞きたい。

また、建設には、現在ある土地や既存の建物等を利用し、土地取得には資金を使わない方向で検討することが大事と思うがどうか。

図書館長 この協議会は21世紀を展望し、情報化、国際化等にも十分対応できるように、役割、機能、あり方、各種サービス等図書館の充実に向けた方策を検討するものであり、平成14年の秋を目途に進めていきたいと考えている。建物等については、現在、白紙の状態である。

個人所有地への不法投棄 行政の対応は

委員 駐車場や農地など個人所有地に洗濯機やテレビ等の廃棄物が不法投棄されることがある。この場合、地権者が自己負担で処分しているのが現状である。

清掃課長 不法投棄の問題は、各市苦慮しているところだが、市と警察及び自治会連合会等が連携し監視を行っている。公園、道路等はそれぞれ管理者を定め適切に管理している。個人の所有地についても原則として自己管理すべきと考える。しかし、あまりにも無秩序な不法投棄には、関係機関と相談し対応したい。



▲中学校のクラブ活動

また、学習指導要領には、互いに相手を尊重し、勝敗に對しても公正な態度をとることが大切だと考えている。

と等が定められており、これを踏まえて指導していくことが大切だと考えている。